

# 校長室の窓から

長門市立深川中学校

校長室だより

2022.1.18 No.36

## 持続可能な充実した教育活動を維持するためのお願いです 学校の働き方改革にご協力を



最近よく耳にする「SDGs<sup>エスディージーズ</sup>」という言葉は「持続可能な開発目標」と訳されており、世界の人々が今の活動を維持しながら幸せに過ごすことをめざしています。

学校の働き方改革にも「持続可能」という考え方が取り入れられており、教職員が限られた時間の中で子どもたちと接する時間を十分に確保しつつ、専門性を生かして教育活動を持続的かつ効果的に行うことが大切であるとされています。

さて、常勤の深川中学校教職員の勤務時間は、8時05分から16時35分となっています。教職員にとって限られた時間とは、本来この勤務時間のことであるべきなのです。しかし、勤務時間外の部活動指導に加え、時間を超えてお子様のことについて保護者の皆様と連絡を取ったり、必要なミーティングをしたりすることが日常的になっています。

このような状況の下、さらに様々なことに対応することが常態化すると、疲弊した学校となり、持続可能な学校ではなくなってしまいます。そこで、保護者の皆様には、次の2点についてご協力いただきたいと思います。

- 1 朝の欠席連絡等については、できるだけ7時30分から8時までの間にしていただけたいと思います。授業の準備等で早く出勤している教職員もいますが、ご協力をお願いします。
- 2 放課後、緊急を要する場合以外のお急ぎでないご連絡については、できるだけ翌日にしていただくと幸いです。ただし、その日のうちに必要な連絡を学級担任等からすることがありますので、携帯電話等の着信履歴に気付かれた場合は折り返していただくと助かります。

学校では、電話連絡以外にも、行事の精選や会議の効率化、ノー残業デーの設定等、時間外の業務時間ができるだけ少なくなるように努めています。教職員が健康な状態で子どもたちの健やかな成長を支えていけるよう努力していく所存ですので、今後ともご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

**【学舎の隅で】** ▼新年を迎え、少しでも若づくりをし

ようと髪を少し黒くしました。卒業アルバム用に個人写真の撮影があったからです。▼ところが、業者に尋ねると4月に撮影は済んでおり、写真も確認しました。働き過ぎないように気をつけます。(笑)

### 深川中学校区探検 その⑩

#### 【長門深川廃寺跡】

西深川板持地区にある築地ノ丘では古い瓦などが見つかり、昭和50年代に調査がありました。その結果、奈良時代に五重塔や金のお堂が建ち、周囲に50mの塀があったと言われています。県内では最古級の寺で、深川地区が長門国の中心として栄えていたことがわかります。現在は田畑が整備され、貴重な遺跡は地下に眠ったままになっています。(下は想像図)

